

いのちとくらしをまもる
防災減災



令和7年1月6日
沖縄気象台

2024年の沖縄地方の平均気温は過去最高を記録

2024年の沖縄地方の地域平均気温平年差は+1.0℃となり、1946年以降で最も高くなりました。また、沖縄周辺海域の海面水温平年差（速報値）は、東シナ海南部（+0.85℃）及び先島諸島周辺（+0.84℃）は1901年以降で、沖縄の東（+1.17℃）は1911年以降で、それぞれ最も高くなりました。

2024年の沖縄地方の地域平均気温平年差（※）は+1.0℃で、年としては統計を開始した1946年以降で最も高くなりました。地域平均気温の年の記録更新は、1998年以来です。沖縄県内の25観測地点（アメダス等）でも、20地点で年平均気温の記録を更新しました。

毎月の気温でも、4月、7月、9月に歴代最高の月の記録を更新しました。

年の地域平均気温平年差の高い方からの順位

順位	年	地域平均平年差（℃）
1	2024	+1.0
2	1998	+0.9
3	2016	+0.8
4	2019	+0.6
5	2020	+0.5

平年値期間は1991～2020年。統計開始は1946年。

沖縄周辺海域の海面水温は、年としては、東シナ海南部で24.80℃（1901年以降で歴代1位）、沖縄の東で25.60℃（1911年以降で歴代1位）、先島諸島周辺で27.23℃（1901年以降で歴代1位）（いずれも2024年1～11月までのデータをもとにした速報値）となりました。

この記録的な高温の主な要因は、年を通じて暖かい空気に覆われやすかったためです。また、沖縄周辺海域の海面水温が7月以降高かったことも寄与した可能性があります。更に背景として、春まで続いたエルニーニョ現象が地球規模での中緯度帯の高温の持続につながったことに加え、地球温暖化が影響したことが考えられます。

沖縄周辺海域の海面水温が高かった主な要因は、暖かい空気に覆われやすく平年より風が弱かったためです。

※ 沖縄地方における地域平均平年差とは、平年値（1991～2020年の平均）と比べて、どのくらい高い（低い）のかを、地域全体でみるものです。那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素を7地点平均することにより算出しています。

問合せ先：沖縄気象台 地域防災推進課 担当 若松

電話：098-917-7921

1. 沖縄県内の気象官署及び特別地域気象観測所での2024年の平均気温

那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島で統計開始以降最も高くなりました。

観測地点	年平均気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開始以来の 高い方からの順位 (10位以内のみ)	これまでの最高		統計開始 年
					年平均気温 (°C)	年	
那覇※	<u>24.4</u>	23.3	+1.1	1	24.4	1998	1890
名護※	<u>23.8</u>	22.8	+1.0	1	23.8	1998	1966
久米島※	<u>24.3</u>	23.2	+1.1	1	24.2	1998	1958
南大東島	24.6	23.5	+1.1	2	24.7	1998	1942
宮古島※	<u>24.9</u>	23.8	+1.1	1	24.8	1998	1937
石垣島※	<u>25.5</u>	24.5	+1.0	1	25.4	1998	1896
西表島※	<u>24.9</u>	23.9	+1.0	1	24.8	2016	1955
与那国島※	<u>24.9</u>	24.0	+0.9	1	24.8	1998	1956

・赤字及び下線は年の極値更新を表します。
・※印は沖縄地方における地域平均に用いている7地点を示します。

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・)の付いた値は準正常値です。
・平年値期間は1991～2020年です。

2. アメダス地点での2024年の年平均気温

伊是名、北原、宮城島、安次嶺、糸数、北大東、旧東、鏡原、仲筋、伊原間、所野、波照間で統計開始以降最も高くなりました。

地点名	年平均 気温 (°C)	平年値 (°C)	平年差 (°C)	統計開 始年
伊是名	<u>23.8</u>	22.7	+1.1	1977
奥	21.9	20.9	+1.0	1977
北原	<u>24.4</u>	23.3	+1.1	2003
宮城島	<u>23.5</u>	22.7	+0.8	2007
渡嘉敷	22.3	21.4	+0.9	1977
安次嶺	<u>24.4</u>	23.6	+0.8	2003
糸数	<u>22.5</u>	21.5	+1.0	1977

・赤字及び下線は年の極値更新を表します。
・平年値がある地点のみ掲載しています。

北大東	<u>24.9</u>	24.0	+0.9	2003
旧東	<u>24.6</u>	23.8	+0.8	2003
下地島	24.8	24.0	+0.8	2003
鏡原	<u>24.4</u>	23.6	+0.8	2003
仲筋	<u>25.1</u>	24.3	+0.8	2003
伊原間	<u>25.1</u>	24.1	+1.0	1977
所野	<u>25.0</u>	24.3	+0.7	2003
大原	24.7	23.9	+0.8	1978
波照間	<u>25.2</u>	24.3	+0.9	1979

・値は速報値であるため修正されることがあります。
・平年値期間は1991～2020年です。

3. 沖縄周辺海域で年平均海面水温が高かった年（上位順）

東シナ海南部			沖縄の東			先島諸島周辺		
年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面 水温 (°C)	平年差 (°C)	年	平均海面水 温(°C)	平年差 (°C)
2024	24.80	+0.85	2024	25.60	+1.17	2024	27.23	+0.84
1998	24.50	+0.55	1998	25.30	+0.87	1998	27.09	+0.70
2016	24.46	+0.51	2020	25.17	+0.74	2016	27.01	+0.62

・沖縄の東は1911年以降の順位。それ以外は1901年以降の順位。2024年の値は速報値であるため修正されることがあります。

・平年値期間は1991～2020年です。

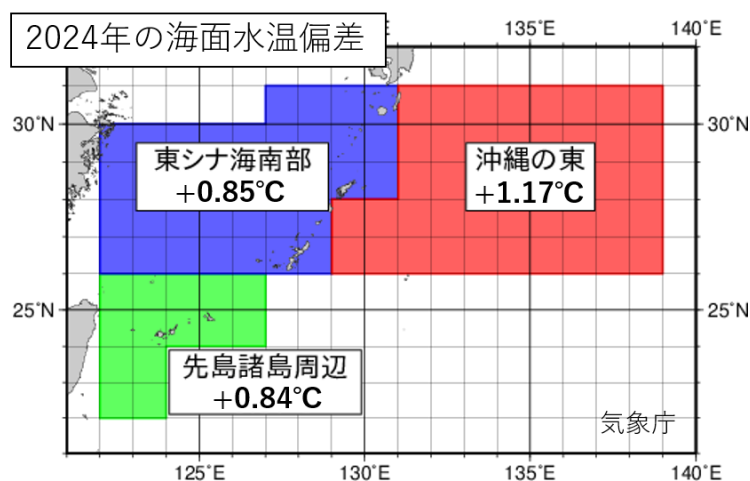


図1 2024年の海面水温偏差

2024年1～11月までのデータをもとにした速報値。

図中の青領域（左上）は「東シナ海南部」、赤領域（右上）は「沖縄の東」、緑領域（左下）は「先島諸島周辺」の海域として海面水温を平均する領域。

4. 気温と海面水温が高くなった要因

年を通じて暖かい空気に覆われやすかったため、沖縄地方では気温が上昇し、記録的な高温となりました。特に、南からの暖かい空気が流れ込みやすかった2月及び4月と、太平洋高気圧に覆われやすかったため晴れて日射が強かった7～8月で高温となり、その後も11月前半にかけて亜熱帯ジェット気流が平年の位置よりも北側を流れやすかったことで暖かい空気に覆われやすく高温となりました。

記録的な高温の背景として、春まで続いたエルニーニョ現象が地球規模での中緯度帯の高温の持続につながったことに加え、地球温暖化が影響したことが考えられます。沖縄周辺海域の海面水温が高い状態にあったことも関係している可能性があります。

沖縄地方周辺の海面水温の記録的な高温については、暖かい空気に覆われやすく平年より風が弱かったことが要因として考えられます。さらに、地球温暖化による海面水温の上昇傾向も背景にあると考えられます。

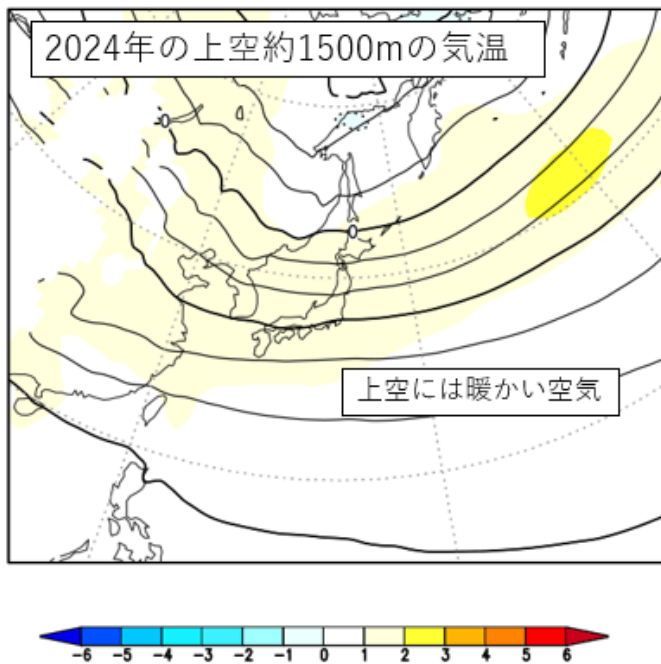


図2 2024年平均の上空約1500mの気温
(実線)と平年偏差(陰影)

暖色系は平年より気温の高い領域。寒色系は平年より気温の低い領域。

2024年の沖縄県の天候についての詳細は、「2024年(令和6年)の日本の天候」や「沖縄地方の天候」をご覧ください。

2024年(令和6年)の日本の天候:

https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/tenkou_index.html

沖縄地方の天候: <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/tenko/tenko.html>

日本近海の海面水温の確定値は、2025年3月5日に「海面水温の長期変化傾向(日本近海)」で発表します。

海面水温の長期変化傾向(日本近海):

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/shindan/a_1/japan_warm/japan_warm.html

今後の見通しの詳細は、「季節予報」や「海洋の健康診断表」をご覧ください。

季節予報:

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=011100&term=P1M>

海洋の健康診断表:

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/ocean/forecast/month.html>